

平成 28 年度 横須賀美術館運営評価報告書について

横須賀美術館は、毎年度運営の評価を行っています。このたび、平成 28 年度の評価結果を報告書としてまとめました。

1 横須賀美術館運営評価システムの概要

- (1) 自己点検の一次評価と、運営評価委員会による二次評価による評価。
- (2) 一年度の活動を翌年度に評価。
- (3) 3つの使命、8つの目標に基づく事業体系とした評価。
- (4) 目標ごとに達成目標（数的指標）と実施目標（質的指標）による評価。
- (5) 評価基準はわかりやすく S、A、B、C、D、F の 6 段階で表示。

2 評価を受けての改善への取り組みについて

- (1) 前年度（平成 27 年度）評価時にいただいた意見等に対する平成 28 年度の取り組み等について

使命Ⅰ 美術を通じた交流を促進する 目標① 広く認知され、多くの人にとって横須賀市を訪れる契機となる	
【評価委員会からの意見等】	【平成 28 年度の取り組み等】
<ul style="list-style-type: none"> ・この環境のよいところにある素敵な美術館をさらに広報していただきたい。 ・更なる情報発信を行い、認知度・イメージアップにつなげていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規広報媒体として横浜駅のデジタルサイネージに掲出した。 ・ツイッターの拡散を期待した取り組みにより、フォロワー数が倍増した。
使命Ⅱ 美術に対する理解と親しみを深める 目標⑤ 所蔵作品を充実させ、適切に管理する	
【評価委員会からの意見等】	【平成 28 年度の取り組み等】
<ul style="list-style-type: none"> ・美術品の購入が途絶えると優れた美術品の情報が集まらなくなり、将来的な美術館活動に影響する懸念が強くある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術品購入予算の財源について、関係部局と話し合い検討した。
目標⑧ 事業の質を担保しながら、経営的な視点をもって、効率的に運営・管理する	
【評価委員会からの意見等】	【平成 28 年度の取り組み等】
<ul style="list-style-type: none"> ・電気・水道・事務費等ほぼ毎年近い使用量なのは、運営上必要量と思うが、引き続き減らすよう意識し、努力されていることは続けていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の質を担保しつつ経費削減に努めている。職員の経費削減の意識啓発を全体会議等で行った。

(2) 今回（平成 28 年度）評価時にいただいた意見等に対する今後の取り組み等について

使命Ⅱ 美術に対する理解と親しみを深める 目標④ 学校と連携し、子どもたちへの美術館教育を推進する	
【評価委員会からの意見等】	【今後の取り組み等】
・この三カ年で幼児の観覧者数が微減している理由を分析する必要あり。	・展覧会別や時期、団体数などを把握分析していく。
使命Ⅲ 訪れるすべての人にやすらぎの場を提供する 目標⑥ 利用者にとって心地よい空間、サービスを提供する	
【評価委員会からの意見等】	【今後の取り組み等】
・ミュージアムショップの水準向上や、経年劣化した施設の修理が望まれる。	・ミュージアムショップスタッフの習熟度や顧客ニーズの把握について、適宜打合せを行っていく。 ・緊急性、費用の点から優先度を定め修繕を行っているところである。

3 平成 28 年度の評価について

使命Ⅰ 美術を通じた交流を促進する

① 広く認知され、多くの人にとって横須賀市を訪れる契機となる。

【達成目標】年間観覧者数 100,000 人以上 平成 28 年度実績 108,413 人

項目	評価	評価委員会コメント
達成目標	A	年間観覧者数は減少したが、達成目標を継続的に維持されている
実施目標	A	ツイッターのフォロワーが前年の倍位伸びたことは評価

② 市民に親しまれ、市民の交流、活動の拠点となる

【達成目標】市民ボランティア協働事業への参加者数延べ 2,000 人

平成 28 年度実績 2,662 人

項目	評価	評価委員会コメント
達成目標	A	ボランティア参加者数が増加、新規登録があったことを評価
実施目標	A	ボランティアのおかげで、初めて美術館を訪れる児童も安心して鑑賞し学び楽しむことができた

使命Ⅱ 美術に対する親しみを深める

③ 調査研究の成果を活かし、利用者の知的欲求を満たす

【達成目標】企画展の満足度 80%以上 平成 28 年度実績 88.0%

項目	評価	評価委員会コメント
達成目標	A	キャプションを改善すれば満足度が大幅アップ可能
実施目標	A	様々な層が楽しめる企画展であり、作家本人の講演会やトークは鑑賞の魅力を増す効果があり、来館者の満足につながった

④ 学校と連携し、子どもたちへの美術館教育を推進する

【達成目標】中学生以下の年間観覧者数 22,000 人 平成 28 年度実績 22,208 人

項目	評価	評価委員会コメント
達成目標	A	三か年で幼児の観覧者数が微減している理由の分析が必要
実施目標	S	児童生徒造形作品展を美術館で開催することにより、児童が美術館を訪れるきっかけとなった

⑤ 所蔵作品を充実させ、適切に管理する

【達成目標】環境調査の実施（年 2 回）、美術評価委員会の開催（年 1 回）

平成 28 年度実績 環境調査 2 回実施、美術評価委員会を 1 回開催

項目	評価	評価委員会コメント
達成目標	A	所蔵作品管理、作品収集に関する取組みは過不足なくできている
実施目標	C	美術品の購入が途絶えると優れた美術品の情報が集まらなくなり、将来的な美術館活動に影響する懸念が強くある

使命Ⅲ 訪れるすべての人にやすらぎの場を提供する

⑥ 利用者にとって心地よい空間、サービスを提供する

【達成目標】館内アメニティ満足度 90%以上、スタッフ対応満足度 80%以上

平成 28 年度実績 館内アメニティ満足度 92.3%

スタッフ対応満足度 86.0%

項目	評価	評価委員会コメント
達成目標	S	「心地よい空間の提供」は誘客に対する基本であり、日常の配慮と工夫が能動的、継続的になされている
実施目標	A	ミュージアムショップの水準向上や経年劣化した施設の修理が望まれる

⑦ すべての人にとって利用しやすい環境を整える

【達成目標】福祉関連事業への参加者数延べ 400 人以上

平成 28 年度実績 359 人

項目	評価	評価委員会コメント
達成目標	B	実施事業に鑑み、目標数値が適正であったか検討すべき
実施目標	A	託児サービスの PR はオプションのため目標値そぐわないのでは

⑧ 事業の質を担保しながら、経営的な視点をもって、効率的に運営・管理する

【達成目標】電気使用量、水道使用量、事務用紙使用枚数を直近 3 年間の平均を目安とする

	H28 (目標)	H28 (実績)
総電気使用量 (kwh)	2,564,960	2,441,219
水道使用量 (m ³)	4,176	4,394
事務用紙使用枚数 (枚)	212,198	253,550

項目	評価	評価委員会コメント
達成目標	A	適切な原因分析がなされており若干の増加は容認すべきと考える
実施目標	A	経費節減は厳しく求められるが、必要な経費が圧縮されないよう留意していただきたい

※詳細は別添「平成 28 年度 横須賀美術館 運営評価報告書」のとおり。

【参考：平成 29 年度 横須賀美術館 事業計画書】別添